

子供の貧困対策に リバー産業が寄付

大阪市から感謝状

不動産開発・販売を手がけるリバー産業が、大阪市の「こどもの貧困対策の推進」事業に1千万円を寄付し、河啓一社長が28日、市役所で寄付金の目録を贈呈、松井一郎市長から感謝状を手渡された。写真。河社長は「弱者や貧しい人への思いをはせるのは当然のこと



と思う」と話し、松井市長は「貧困な環境にある子供たちを1人でも多く支えていきたい」と述べた。同社は昨年度も同事業に

1千万円を寄付。この寄付に対して紺綬褒章が授与され、この褒状も同日、松井市長から河社長に伝達された。

さらに同社は、市のイルミネーションイベント「OSAKA光のルネサンス」に1千万円を寄付。河社長は「他府県や外国の人から見ても魅力あるまちをつくらなければならない」と話した。